

上半期レポート
銚子信用金庫の現況
[2019年4月1日から2019年9月30日まで]

2019



Choshi  Shinkin Bank



ごあいさつ



2019年11月

理事長 **松岡 明夫**

信用金庫は、「相互扶助(お互いに助け合う)」の精神を源流に持つ、会員を主体とする協同組織の金融機関であること、限定された営業エリアで活動する金融機関であること、中小・零細企業と個人のお客さま専門の金融機関であること、という三つの際立った特徴をもつ金融機関です。

そして、活動スタイルとしての大きな特徴は「Face to Face(フェイス・トゥ・フェイス)」です。営業店の窓口、お客さまを訪問する営業担当者など、信用金庫の活動はお客さま(=ひと)と職員(=ひと)とのふれあいによって成り立っています。

それは、デジタル化が急激に進む現在も変わることはありませんし、これからも変わらない信用金庫の基本です。

だからといって、AI(エー・アイ=人工知能)などのデジタル化に当金庫は取り組まないというわけではないのです。信用金庫にとって、デジタル・ツールはあくまでも業務の背景にあるものに過ぎず、主役はあくまでも「ひと(お客さま・職員)」であると考えているからです。

お互いの体温が感じられる位置で、常にお客さまのライフサイクルに寄り添い、人生の伴走者として歩んでゆくことが、わたしたち信用金庫の願いです。

そんなわたしたちですから、たとえば、AI(エー・アイ)にしても、「あい」と読んでしまいたくなるのです。

当金庫の概要

名称	銚子信用金庫
所在地	銚子市双葉町5番地の5
電話番号	0479-25-2100 (代表)
創立	明治43年7月15日
出資金	2,512百万円(普通出資金)
会員数	34,177名
店舗数	28店舗 (千葉県内24店・茨城県内4店)
役職員数(常勤)	441名

(2019年9月末現在)

中期経営計画(新三か年計画)について

(2018年~2020年)

目的

地域のお客さまからの圧倒的な信頼の獲得
～地域との持続的発展に向けた経営基盤の再構築～

方針

2018年4月にスタートさせた中期経営計画(新三か年計画)は、「銚子信用金庫ならではの」活動をとことん追求し、お客さまのライフサイクル・ライフステージに寄り添った商品・サービスのご提供と、積極的な課題解決のご支援により地域社会の発展に貢献していくことを方針としています。

重点事項

と

主要施策

1 お客さま満足度の向上 地域への支援強化 <small>(お客さまのニーズにお応えする商品・サービスの提供)</small>	2 組織力の強化 <small>(マネジメント力の強化)</small>	3 人材基盤の強化 <small>(働きがいのある職場づくり)</small>
<ul style="list-style-type: none"> ● お客さまに喜ばれる商品・サービスの提供 ● お取引先企業に選ばれる商品・サービスの提供 ● 地域活性化に向けた積極的な参画 	<ul style="list-style-type: none"> ● 営業態勢の強化 ● 余資運用の強化 ● 内部管理態勢の強化 ● 経営資源の効率的な運用 	<ul style="list-style-type: none"> ● 新人事制度の適切な運用 ● ワークライフバランスの推進 ● 成長・スキルアップ機会の充実

各重点事項は、それぞれ当金庫の経営理念を踏まえて設定しております。



お取引先企業等への経営支援に関する取組み

本業支援

●「銚子広域魅力発信プロジェクト」の推進

銚子市の各種団体が連携して推進している「銚子広域魅力発信プロジェクト」に参画し、銚子市並びに近隣地域の中小企業・小規模事業者の新たな販路開拓支援や、商品等の改良、販売力向上に向けた支援に取り組んでいます。今年度も銚子市内や、タイ・バンコクでの商談会・展示販売会を開催する予定です。



タイ・バンコクでのプレスイベントの様子

●「2019年しんきん食の商談会」の開催(2019年10月11日)

千葉県内の5信用金庫の共催で、千葉県の名産品や物産品を広く千葉県内外にPRすることを目的とした、第9回目の「しんきん食の商談会」を10月11日に幕張メッセで開催しました。

参加されたお客さま(出展者)からは、「商品改良や新商品開発のヒントが得られた」などの声をいただき、有意義な商談会となりました。



しんきん食の商談会

経営改善支援

●経営課題解決支援への取組み

お取引先企業の経営改善を後押しするため、経営課題に対する改善施策のアドバイスや経営改善計画の策定支援に取り組んでいます。

また、実効性のある改善支援活動につなげるため、外部機関・外部専門家の活用や、各種保証制度・補助金制度の活用についても積極的に提案を行っています。



経営改善支援

事業承継・M&A支援

●事業承継・M&A支援への取組み

後継者さまへのスムーズな事業承継をサポートすることを目的に、「千葉県事業引継ぎ支援センター」と連携し、事業承継の個別相談会を毎年開催しています。また、事業承継の実施にあたっては、「千葉県弁護士会」、「千葉県中小企業診断士協会」と連携し、お客さまに応じた専門家の紹介も行える体制としています。

M&A支援については、(株)トランビや信金キャピタル(株)と連携して取り組んでいるほか、当金庫の持つ情報ネットワークの活用により近隣エリアでのM&A実現を目指す「ちょうしんきんM&Aサポート」のお取扱いを開始するなど、サポートを強化しています。



事業承継の個別相談会



地域社会への貢献

地域活性化に向けた取組み

当金庫では、地域振興・地域活性化に向けた活動を業務の柱のひとつに据え、営業エリア内の市町村が進めている地方版総合戦略の施策実施に対して、積極的に参画・協力しています。

地域創生

● 銚子市活性化に向けた取組みの継続

当金庫が本店をおく銚子市の活性化に向けたさまざまな活動に参加、支援しています。

- 銚子円卓会議
- 銚子市創業支援事業計画(創業支援事業者として参画)
- 銚子中心市街地活性化研究会
- 銚子市との連携による高齢者対応ワークショップ
- 銚子市、(株)バトズなど、6者による事業承継支援に関する協定締結 など

● 「さんむエコノミックガーデニング」への参加

行政や商工会議所、銀行などが連携しながら地元の中小企業が活動しやすく、成長できるビジネス環境をつくることを目指して設置された「さんむエコノミックガーデニング推進協議会」に会員として参加しています。昨年度に引き続き今年度も、金の流れを考えるワークショップ「ベーシックマネー講座」に講師として協力しました。



高齢者対応ワークショップ



さんむエコノミックガーデニング

地域に根ざした活動

若手社員研修会 (2019年4月18日・19日)

「若手社員研修会」は、地域事業所の若手社員を対象に、ビジネスマナー・電話応対・仕事の進め方・金融経済の基礎知識などの社員教育を代行する研修会で、毎年4月に開催しています。

当研修会は今回で29回目の開催となり、これまで延べ519事業所、1,070名の方が受講されています。



若手社員研修会

「ちょうしんきん経営塾21」

企業の発展と地域経済の活性化を目指して、事業意欲の高い地域の次世代経営者を対象に、経営についての継続的な学習機会をご提供させていただいています。

2006年に開講した若手経営者勉強会「ちょうしんきん経営塾21」は、第1期生～第6期生まで、延べ181名が卒業しました。

2018年10月から第7期が、34名の受講生でスタートしています。



経営塾21



未来を担う子どもたちのために

●「さんさん★フェスタ2019」への参加 (2019年6月8日)

千葉県民の日を記念した海匝地区(銚子市・旭市・匝瑳市)のイベント「さんさん★フェスタ2019」が、匝瑳市「そうさ記念公園」を会場に開催されました。当金庫のブースでは、模擬紙幣を利用した職場の体験や名刺の作成などを行い、多くの子どもたちに楽しんでいただきました。



さんさん★フェスタ

●「職場体験学習」などの受入れ (2019年8月)

地域の未来を担う子どもたちへの金融教育の一環として、当金庫では、小中学生向け職場体験学習などの受入れに積極的に取り組んでいます。今年度は「職場体験学習」として中学生2名を受け入れ、ビジネスマナーの学習や金融機関の業務体験をしていただきました。また、多くの小学生が「町探検」で支店を訪れてくれました。



職場体験学習

●「インターンシップ」の実施 (2019年8月)

就業力育成支援を目的としたインターンシップにも積極的に取り組んでおり、今年度は大学生5名を受け入れました。本部各部の業務や、営業店でのお客さまへの訪問活動など、様々な仕事の体験を通して、「信用金庫」について学んでいただきました。



インターンシップ

文化・スポーツ振興



5月25日 銚子市「銚子イイ! グルメライド」



5月26日 銚子市「君ヶ浜海岸清掃」



5・6月 営業店での環境保全活動(東金支店)



7月26日 茂原市「茂原七夕まつり」



8月5日 匝瑳市「八重垣神社祇園祭」



8月23日 銚子市「ひびき連合会 大盆踊り大会」



8月25日 神栖市「きらっせ祭り」



10月6日 銚子市「銚子マリーナトライアスロン大会」

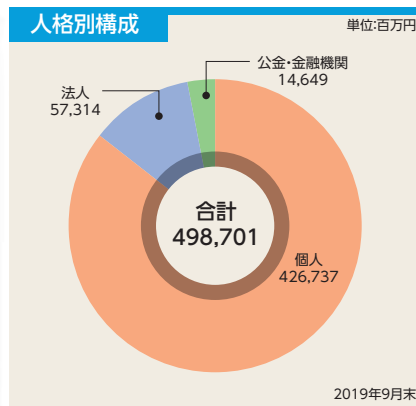
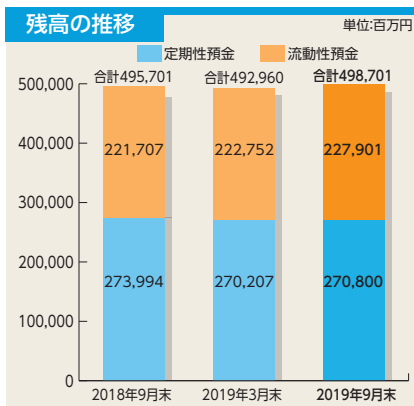


上期の事業概況

預金積金の状況

お客さまのライフサイクル・ライフステージに沿ったご提案を行うため、お客さまのご来店時および定期的なご訪問を通じて、「お客さまを知る」活動を展開しています。

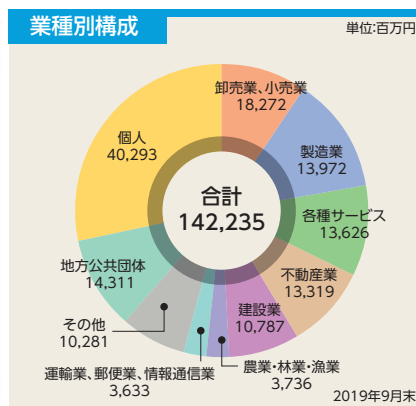
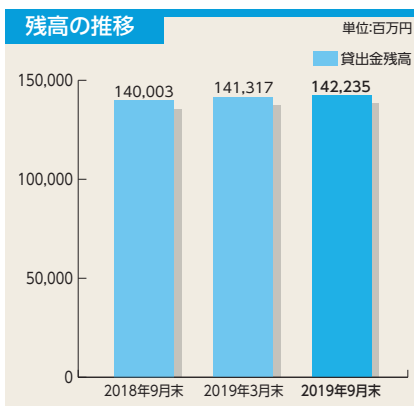
特別金利を適用した夏の定期預金キャンペーンや安定した年金振込などにより、2019年9月末の預金積金残高は、前年度末比57億円増加し、4,987億円となりました。



貸出金の状況

「お客さまを知る」活動を通じて収集した情報を基に、適切な商品・サービスのご提案・ご提供に努めています。

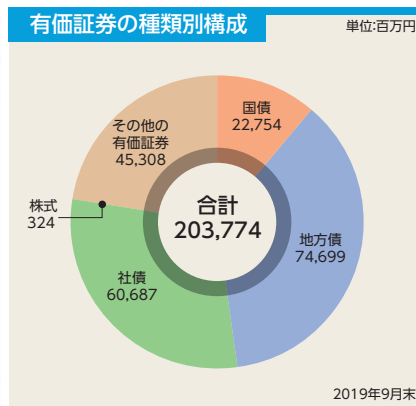
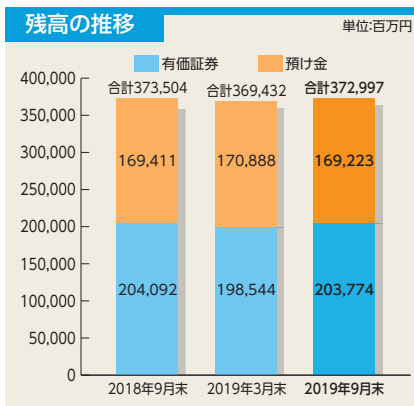
事業者のお客さまには、運転資金・設備資金の需要喚起のほか、課題解決に着目したご融資のご提案を行い、個人のお客さまには住宅ローン、各種個人向けローンについて特別金利でのご提供を行ったことなどにより、2019年9月末の貸出金残高は、前年度末比9億円増加し、1,422億円となりました。



有価証券および預け金の状況

お客さまからお預かりしたご預金は、ご融資(上記貸出金)のほか、有価証券および預け金などで運用しています。

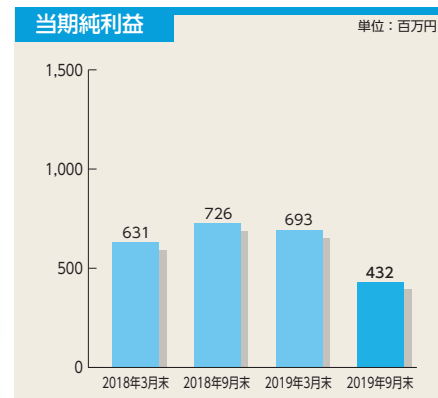
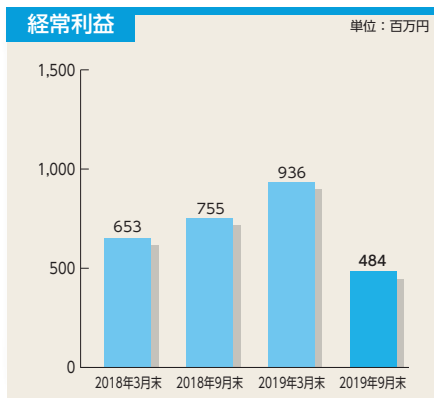
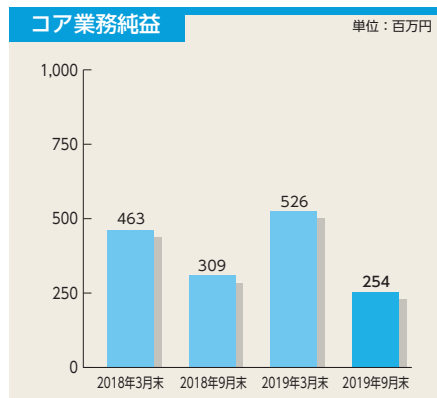
有価証券は、安定収益の確保を目的として、国債・地方債・政保債・金融債を中心とした運用を行い、預け金は日本銀行、信金中央金庫などに預入しており、2019年9月末の余資運用の残高は、前年度末比35億円増加し、3,729億円となりました。



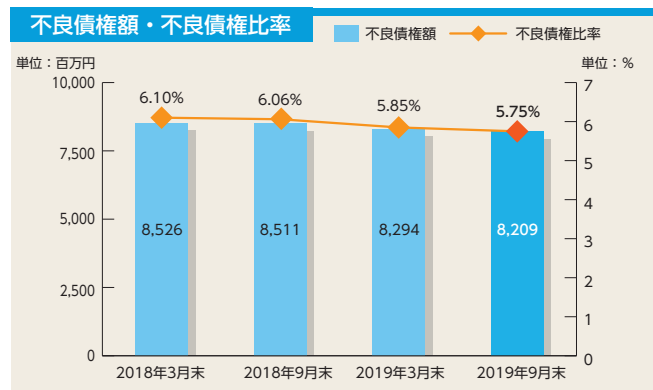
損益の状況

2019年9月末のコア業務純益は、貸出金利回り低下に伴う資金運用収益の減少などにより、前年同期比54百万円減少の254百万円となりました。

経常利益については、貸倒引当金戻入益および株式等売却益の減少などから、前年同期比271百万円減少の484百万円となり、法人税等を控除した当期純利益は前年同期比293百万円減少の432百万円となりました。

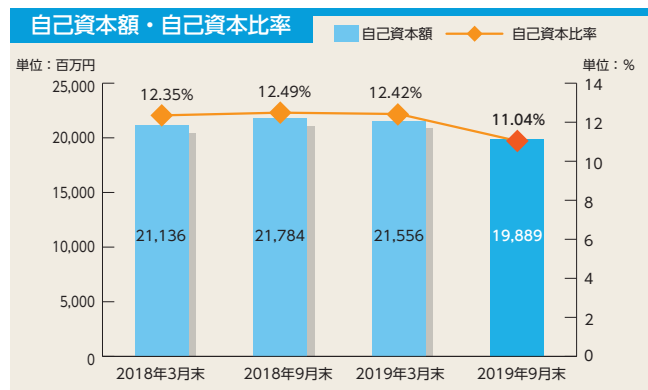


不良債権の状況



毎期年度当初に策定する不良債権処理計画に基づいて不良債権処理を進めるとともに、事業再生等の支援にも積極的に取り組んでいます。この結果、2019年9月末の不良債権額は前年度末比84百万円減少の8,209百万円、不良債権比率は、前年度末比0.10ポイント低下の5.75%となりました。

自己資本の状況



2019年度上期に特別積立金2,107百万円を取り崩し、優先出資の一部買入消却を行いました。これにより、2019年9月末の自己資本額は前年度末比1,667百万円減少の19,889百万円となり、自己資本比率は前年度末比1.38ポイント低下の11.04%となりました。

今後も引き続き、内部留保の積み上げを行い自己資本の充実を図ってまいります。



2019年度仮決算の状況

◆ 資産・負債・純資産の状況

単位:百万円

科目	2018年9月末	2019年9月末	増減額
(資産の部)			
現金	5,585	5,116	△ 468
預け金	169,411	169,223	△ 188
買入金銭債権	128	539	411
金銭の信託	—	—	—
有価証券	204,092	203,774	△ 318
貸出金	140,003	142,235	2,231
その他資産	3,012	2,970	△ 41
有形固定資産	4,225	4,392	166
無形固定資産	120	114	△ 5
繰延税金資産	—	—	—
債務保証見返	280	281	1
貸倒引当金	△ 3,417	△ 3,421	△ 4
資産の部合計	523,443	525,226	1,782

単位:百万円

科目	2018年9月末	2019年9月末	増減額
(負債の部)			
預金積金	495,701	498,701	3,000
借入金	94	78	△ 15
その他負債	562	449	△ 113
賞与引当金	142	144	1
退職給付引当金	1,308	1,258	△ 50
役員退職慰労引当金	16	21	4
その他の引当金	90	145	55
繰延税金負債	258	608	349
再評価に係る繰延税金負債	119	95	△ 24
債務保証	280	281	1
負債の部合計	498,577	501,784	3,207
(純資産の部)			
出資金	10,038	10,012	△ 25
普通出資金	2,538	2,512	△ 25
優先出資金(注)	5,400	4,350	△ 1,050
その他の出資金(注)	2,100	3,150	1,050
資本剰余金	1,033	1,033	0
利益剰余金	9,902	8,126	△ 1,776
処分未済持分	△ 0	△ 0	△ 0
会員動定合計	20,974	19,172	△ 1,801
評価・換算差額等合計	3,891	4,269	377
純資産の部合計	24,865	23,441	△ 1,424
負債及び純資産の部合計	523,443	525,226	1,782

(注) 2005年(平成17年)3月31日に信金中央金庫に対して発行した優先出資150億円につきましては、協同組織金融機関の優先出資に関する法律(1993年(平成5年)5月12日公布法律第44号)第15条第1項第1号の規定に基づき、発行済優先出資のうち63億円(2012年7月9日に21億円、2016年8月5日に21億円、2019年8月2日に21億円)を消却しました。優先出資の消却を受け、貸借対照表上、優先出資に計上していた3,150百万円を、その他の出資金に振り替えて計上しています。

◆ 損益の状況

単位:百万円

科目	2018年9月末	2019年9月末	増減額
業務粗利益	2,360	2,305	△ 55
資金利益	2,300	2,226	△ 74
貸出金利息	1,258	1,226	△ 32
有価証券利息配当金	929	886	△ 42
預け金利息	100	94	△ 6
資金調達費用	△ 42	△ 36	6
役務取引等利益	67	72	5
その他業務利益	△ 8	5	13
一般貸倒引当金繰入額	—	—	—
経費	2,066	2,050	△ 16
業務純益	293	254	△ 38
コア業務純益	309	254	△ 54
臨時損益	462	229	△ 232
償却・個別貸倒引当金	—	—	—
貸倒引当金戻入益・償却債権取立益	372	232	△ 140
経常利益	755	484	△ 271
当期純利益	726	432	△ 293

◆ 自己資本の構成に関する事項

単位:百万円

項目	2019年3月末	2019年9月末
【自己資本】		
普通出資又は非累積的永久優先出資に係る会員勘定の額	20,857	19,172
うち、出資金及び資本剰余金の額	11,056	11,046
うち、利益剰余金の額	9,934	8,126
うち、外部流出予定額(△)	133	—
うち、上記以外に該当するものの額	△ 0	△ 0
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	828	837
うち、一般貸倒引当金コア資本算入額	828	837
うち、適格引当金コア資本算入額	—	—
【コア資本に係る基礎項目の額】(イ)	21,685	20,010
無形固定資産(モーゲージ・サービシング・ライセンスに係るものを除く。)の額の合計額	122	114
繰延税金資産(一時差異に係るものを除く。)の額	6	6
【コア資本に係る調整項目の額】(ロ)	128	120
自己資本の額(ハ)=(イ)-(ロ)	21,556	19,889
【リスク・アセット等】		
信用リスク・アセットの額の合計額	163,204	169,856
資産(オン・バランス)項目	162,689	169,371
うち、経過措置によりリスク・アセットの額に算入される額の合計額	△ 1,425	△ 1,425
オフ・バランス取引等項目	314	311
CVAリスク相当額を8%で除して得た額	201	172
中央清算機関関連エクスポージャーに係る信用リスク・アセットの額	—	—
オペレーショナル・リスク相当額の合計額を8%で除して得た額	10,235	10,235
リスク・アセット等の額の合計額(ニ)	173,440	180,092
自己資本比率(ハ)/(ニ)	12.42%	11.04%

(注) 自己資本比率の算出方法を定めた「信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫及び信用金庫連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(2006年(平成18年)金融庁告示第21号)」に基づき算出しています。
なお、当金庫は国内基準を採用しています。

◆ 自己資本の充実度に関する事項

単位:百万円

	2019年3月末		2019年9月末	
	リスク・アセット	所要自己資本額	リスク・アセット	所要自己資本額
イ. 信用リスク・アセット、所要自己資本の額の合計	163,204	6,528	169,856	6,794
① 標準的手法が適用されるポートフォリオごとのエクスポージャー	158,754	6,350	164,097	6,563
(i) ソブリン向け	2,045	81	1,857	74
(ii) 金融機関向け	39,291	1,571	38,380	1,535
(iii) 法人等向け	48,683	1,947	54,962	2,198
(iv) 中小企業等・個人向け	30,710	1,228	30,980	1,239
(v) 抵当権付住宅ローン	3,288	131	3,122	124
(vi) 不動産取得等事業向け	8,939	357	8,615	344
(vii) 三月以上延滞等	213	8	169	6
(viii) 信用保証協会等による保証付	1,269	50	1,302	52
(ix) 出資等	145	5	145	5
(x) その他	24,166	966	24,561	982
② 証券化エクスポージャー	—	—	—	—
③-1. 複数の資産を裏付けとする資産(所謂ファンド)のうち、個々の資産の把握が困難な資産	—	—	—	—
③-2. リスク・ウェイトのみなし計算が適用されるエクスポージャー	5,674	226	7,010	280
④ 経過措置によりリスク・アセットの額に算入されるものの額	—	—	—	—
⑤ 他の金融機関等の対象資本調達手段に係るエクスポージャーに係る経過措置によりリスク・アセットの額に算入されなかったものの額	△ 1,425	△ 57	△ 1,425	△ 57
⑥ CVAリスク相当額を8%で除して得た額	201	8	172	6
⑦ 中央清算機関関連エクスポージャー	—	—	—	—
ロ. オペレーショナル・リスク相当額の合計額を8%で除して得た額	10,235	409	10,235	409
ハ. 単体総所要自己資本額(イ+ロ)	173,440	6,937	180,092	7,203

(注) 1. 所用自己資本の額=リスク・アセット×4%
2. 「エクスポージャー」とは、資産(派生商品取引によるものを除く)ならびにオフ・バランス取引および派生商品取引の与信相当額です。
3. 「ソブリン向け」とは、中央政府、中央銀行、地方公共団体、地方公共団体金融機構、我が国の政府関係機関、土地開発公社、地方住宅供給公社、地方道路公社、外国の中央政府以外の公共部門(当該国内においてソブリン扱いになっているもの)、国際開発銀行等、国際決済銀行等、信用保証協会等向けエクスポージャーのことです。
4. 「三月以上の延滞等」とは、元本または利息の支払いが約定支払日の翌日から3ヵ月以上延滞している債務者に係るエクスポージャーおよび「ソブリン向け」、「金融機関向け」、「法人等向け」においてリスク・ウェイトが150%になったエクスポージャーのことです。
5. 当金庫は、基礎的手法によりオペレーショナル・リスクを算定しています。
<オペレーショナル・リスク(基礎的手法)の算定方法>
粗利益(直近3年間のうち正の値の合計額)×15%
直近3年間のうち粗利益が正の値であった年数
6. 単体総所要自己資本額=単体自己資本比率の分母の額×4%



財産の状況

◆ 有価証券等の時価情報

【有価証券】

満期保有目的の債券で時価のあるもの

単位:百万円

区分	2019年3月末					2019年9月末				
	貸借対照表計上額	時価	差額	うち		貸借対照表計上額	時価	差額	うち	
				うち益	うち損				うち益	うち損
国債	10,633	11,135	501	501	—	10,625	11,137	511	511	—
地方債	65,708	67,385	1,676	1,676	—	64,330	65,722	1,391	1,391	—
短期社債	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
社債	9,391	9,569	178	178	—	7,452	7,595	142	142	—
その他	13,602	13,809	206	238	31	11,601	11,808	206	232	26
合計	99,336	101,900	2,563	2,595	31	94,010	96,262	2,252	2,279	26

(注) 1. 時価は、期末日における市場価格等に基づいています。 2. 上記の「その他」は、外国証券等です。

その他有価証券で時価のあるもの

単位:百万円

区分	2019年3月末					2019年9月末				
	取得原価(償却原価)	貸借対照表計上額	評価差額	うち		取得原価(償却原価)	貸借対照表計上額	評価差額	うち	
				うち益	うち損				うち益	うち損
株式	103	274	171	171	—	103	284	180	180	—
債券	67,751	69,493	1,741	1,746	5	73,848	75,733	1,884	1,896	12
国債	11,220	12,031	810	810	—	11,201	12,128	926	926	—
地方債	10,215	10,542	326	326	0	10,053	10,368	315	315	—
短期社債	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
社債	46,315	46,919	604	609	5	52,593	53,235	642	654	12
その他	26,415	29,384	2,968	3,139	170	30,191	33,690	3,499	3,641	142
合計	94,270	99,151	4,881	5,057	176	104,143	109,708	5,564	5,719	154

(注) 1. 貸借対照表計上額は、期末日における市場価格等に基づいています。 2. 上記の「その他」は、外国証券および投資信託等です。

時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券の貸借対照表計上額 単位:百万円

	2019年3月末	2019年9月末
その他有価証券の非上場株式	40	40
その他有価証券のその他の証券	15	15

売買目的有価証券 … 該当ありません。

子会社・子法人等株式および関連法人株式 … 該当ありません。

【金銭の信託】

運用目的の金銭の信託 … 該当ありません。

満期保有目的の金銭の信託 … 該当ありません。

その他の金銭の信託 … 該当ありません。

【デリバティブ取引等】 … 該当ありません。

◆ 金融再生法に基づく開示債権

単位:百万円

	2019年3月末	2019年9月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	563	546
危険債権	7,470	7,284
要管理債権	260	377
不良債権 (A)	8,294	8,209
正常債権	133,457	134,438
総与信残高	141,751	142,647
不良債権の保全状況		
担保・保証	4,840	4,789
貸倒引当金	2,629	2,588
保全額 (B)	7,470	7,378
保全率 (B) / (A)	90.06%	89.87%
未保全額 (A) - (B)	824	831

◆ 金利リスクに関する事項

IRRBB1:金利リスク

単位:百万円

項番	イ		ロ		ハ		ニ	
	ΔEVE				ΔNII			
	2019年3月末	2019年9月末	2019年3月末	2019年9月末	2019年3月末	2019年9月末	2019年3月末	2019年9月末
1	上方パラレルシフト	6,838	6,724					
2	下方パラレルシフト	0	0					
3	スティープ化	5,483	5,483					
4	フラット化							
5	短期金利上昇							
6	短期金利低下							
7	最大値	6,838	6,724					
		ホ		ヘ				
		2019年3月末		2019年9月末				
8	自己資本の額	21,556		19,889				

(注) 「金利リスクに関する事項」については、平成31年金融庁告示第3号(2019年2月18日)による改正を受け、2019年3月末から金利リスクの定義と計測方法等が変更になりました。

トピックス

●「ウレシイくらしのセミナー」を開催しました

当金庫営業地域内の多くのお客さまに、日常の暮らしに直結する様々な情報をご提供することを目的として、「ウレシイくらしのセミナー」を開催しています。今年度は、遺言・相続(茨城ブロック・旭ブロック)、認知症予防(銚子ブロック)をテーマとし、多くのお客さまにご来場いただきました。お客さまにとって身近な話題をテーマに、今後も定期的にセミナーを開催していく予定です。



「ウレシイくらしのセミナー」の様子

お知らせ

●しんきん教育カードローンのお取扱いを開始しました

しんきん教育カードローンとは、専用のローンカードを使用して、ATMから必要な時に必要な額をお借入枠の範囲内で何度でもお借入れいただける商品です。受験時・入学時・在学中にかかる費用など、様々な教育資金にご利用いただけます。在学期間中は利息のみのお支払いで、月々の負担が少ないのが特長です。



カード
だから
便利

必要な時に、
必要な金額だけ
ご利用いただけます。

●相続信託「こころのボタン」・暦年信託「こころのリボン」のお取扱いを開始しました

ご自分の将来やご家族の未来のために必要となる資金を準備しておきたい、ご家族に生前贈与をしたい、そんなニーズにお応えして、相続信託「こころのボタン」、暦年信託「こころのリボン」のお取扱いを開始しました。「こころのボタン」は、ご自分の将来の生活資金としての定期的な受取りや、ご家族にのこす金額および受取方法をあらかじめ指定できます。「こころのリボン」は、生前贈与の手続きをサポートする商品です。

※当金庫の信託商品(しんきん相続信託、しんきん暦年信託)は、信金中央金庫の商品であり、当金庫は信金中央金庫の信託契約代理店としての取扱いを行います。

※ご契約に際しては、お客さまと信金中央金庫が契約当事者となります。

※信託商品につきましては、当金庫は信託契約代理店として媒介をいたします。



店舗のご案内

(2019年11月末日現在)

店番	店名	電話番号	郵便番号	所在地	ATMご利用可能時間・機能				AED 設置店
					平日	土	日・祝	音声案内	
1	本店	0479-25-2111	288-8686	銚子市双葉町5-5	A	C	C	○	○
3	外川	0479-22-5525	288-0014	銚子市外川町2-10620-3	B	C	C	○	-
4	本城	0479-22-5945	288-0831	銚子市本城町2-183-2	B	C	-	○	-
5	橋本	0479-22-8786	288-0002	銚子市明神町1-74	A	C	C	○	○
6	松岸	0479-22-3490	288-0835	銚子市垣根町1-283	B	C	C	○	○
7	八日市場	0479-72-1531	289-2144	匝瑳市八日市場イ2461-1	A	C	C	○	○
8	飯岡	0479-57-3434	289-2705	旭市飯岡2163	B	C	C	○	-
9	船木椎柴	0479-33-1311	288-0862	銚子市高田町6-889	B	C	-	○	-
10	松尾	0479-86-2421	289-1527	山武市松尾町大堤114-4	B	C	C	○	-
11	波崎	0479-44-0571	314-0408	神栖市波崎6381-1	A	C	C	○	-
12	大原	0470-62-1222	298-0004	いすみ市大原7650-7	B	C	-	○	-
13	勝浦	0470-73-0102	299-5225	勝浦市墨名788	B	C	C	○	-
14	大多喜	0470-82-2831	298-0214	夷隅郡大多喜町新丁91-1	B	C	C	○	-
15	茂原	0475-22-3348	297-0026	茂原市茂原547	B	C	-	○	○
16	鹿島	0299-82-4521	314-0031	鹿嶋市宮中1-9-30	B	C	-	○	-
19	神栖	0299-96-3541	314-0112	神栖市知手中央9-9-22	A	C	C	○	○
21	東金	0475-55-1751	283-0068	東金市東岩崎6-4	B	C	C	○	○
23	清川町	0479-23-6111	288-0817	銚子市清川町4-4-6	A	C	C	○	○
24	東庄	0478-86-2111	289-0611	香取郡東庄町新宿1134-2	A	C	C	○	-
25	土合	0479-48-3711	314-0347	神栖市土合中央2-9-12	B	C	C	○	-
28	旭中央	0479-62-1011	289-2516	旭市口の832	A	C	C	○	○
29	横芝	0479-82-1551	289-1732	山武郡横芝光町横芝1502-5	B	C	C	○	-
30	海上	0479-55-3211	289-2613	旭市後草2047-5	B	C	C	○	-
31	千漣	0479-63-8888	289-2504	旭市二の6368	A	C	C	○	-
32	山田	0478-78-2611	289-0411	香取市府馬2729-3	B	C	-	○	-
33	千葉	043-231-2631	260-0001	千葉市中央区都町3-15-1	B	C	C	○	○
34	佐倉	043-485-1104	285-0013	佐倉市海隣寺町5-11	B	C	-	○	-
41	蓮沼	0475-86-4181	289-1802	山武市蓮沼口の2932-6	B	C	-	○	-
店舗外ATM				(銚子市役所)	D	-	-	○	
ATMご利用可能時間		A	8:00~21:00	B	8:00~20:00	C	8:45~17:00	D	9:00~17:00
ATM機能	お振込み	全店のATMでご利用いただけます。(お振込みには手数料がかかる場合がございます。)							
	通帳繰越	全店に通帳繰越機能付ATMを設置しています。							
	音声案内	全店に視覚障がい者の方にもご利用いただけるハンドセット付ATMを設置しています。							

※ 店舗外ATMでのお振込みは、キャッシュカードのみのお取り扱いとさせていただきます。

※ 店舗外ATMは、年末年始にはご利用いただけない場合がございます。